

株式会社 KUBOXT 東海地方（岐阜県）に初進出！

～岐阜県揖斐郡大野町に物流拠点を新設します～



テクノパーク大野の立地協定を結んだKUBOXTの久保満社長（中央）と大野町の宇佐美晃三町長（左）と立ち会い人の岐阜県商工労働部森島勝博次長（右）

新たな地で、新たなカテゴリーへの挑戦

KUBOXTは、岐阜県揖斐郡大野町内の「テクノパーク大野」に用地を取得し、中日本をターゲットとした物流拠点を新設します。

取扱量の多い東海地方に、自社保有の物流基地を設けることで、中国地方から東海・北陸地方をカバーする輸送体制、高機能倉庫での保管業務など、お取引先への対応力の強化はもちろん、新規のご要望にもお応えできる体制を構築します。

3万3千㎡（約1万坪）の区画を取得し、第1期は危険物倉庫をはじめ、ニーズに応じた倉庫の新設を計画中です。今後のご要望に応じて、機能を追加する計画です。ぜひ、御社の物流計画に当社をお役立てください。

「そこまでやる！」が合言葉
KUBOXT 検索
HPにWEB説明会を掲載中！



岐阜進出でめざすもの



PRESS RELEASE

中日新聞・岐阜新聞・建通新聞など、多数の新聞・マスコミに報道されました。
くわしくは、弊社HPに掲載しております。



KUBOXT テクノパーク大野敷地内

物流倉庫など建設



テクノパーク大野の立地協定を結んだKUBOXTの久保満社長（中央）と大野町の宇佐美晃三町長（左）と立ち会い人の岐阜県商工労働部森島勝博次長（右）

工場作業所
倉庫作業所
7000平方メートルの延べ床面積は、建設中。18日に大野町役場で岐阜県商工労働部森島勝博次長と立ち会いの下、同社の久保満社長と大野町の宇佐美晃三町長が企業立地に関する協定書にサインし協定を結んだ。

計画では、大野町寺内地内のテクノパーク大野の区画2（面積3万2548平方メートル）の約半分の敷地に、1期工事として危険物対応倉庫や物流倉庫、事務所棟など3〜4棟の施設を建設する。事務所棟が2階建てで、倉庫などは平屋を想定。構造は全て鉄骨造を予定しており、建物全体の延べ床面積は7000平方メートルを予定している。18日に大野町役場で岐阜県商工労働部森島勝博次長と立ち会いの下、同社の久保満社長と大野町の宇佐美晃三町長が企業立地に関する協定書にサインし協定を結んだ。

計画は、大野町寺内地内のテクノパーク大野の区画2（面積3万2548平方メートル）の約半分の敷地に、1期工事として危険物対応倉庫や物流倉庫、事務所棟など3〜4棟の施設を建設する。事務所棟が2階建てで、倉庫などは平屋を想定。構造は全て鉄骨造を予定しており、建物全体の延べ床面積は7000平方メートルを予定している。18日に大野町役場で岐阜県商工労働部森島勝博次長と立ち会いの下、同社の久保満社長と大野町の宇佐美晃三町長が企業立地に関する協定書にサインし協定を結んだ。



株式会社 KUBOXT

〒733-0832 広島県広島市西区草津港2丁目6-17

資料請求・お問い合わせ
082-277-0440
受付時間 / 9:00~17:00 休日 / 日曜日・祝日
<https://kubox.net>

拠点紹介

東海環状自動車道 大野神戸ICの開通により、中部圏や関西圏へとつながる新たな玄関口として、飛躍的に便利な立地となった岐阜県大野町。

この地にKUBOXTは自社拠点を建設し、東海・北陸地方を中心ターゲットにした物流ネットワークのハブ拠点として展開します。

滋賀営業所の機能を岐阜県に移転し、保管方法や物量アップ、危険物をはじめ専門的かつニーズに合わせた倉庫機能の充実、ICTの導入による業務スリム化などを推進し、蓄積してきた弊社のALL INシステムを融合させ、既存のお取引先はもちろん、新規のお客様への対応を強化致します。

新たな地域に根差し、サプライチェーンの新規構築や行政・学校・地域コミュニティとの連携で、未来につながるフィールドづくりをすすめてまいります。



東京ドーム
約0.8個分の広さ

拠点全景



テクノハウス大野 全景

🚗 お車でのアクセス

大野神戸ICから北へ約7km（車で約15分）

JR岐阜駅から	車で30分（18km）
JR名古屋駅から	車で60分（50km）
中部国際空港から	車で90分（94km）

セールスポイント

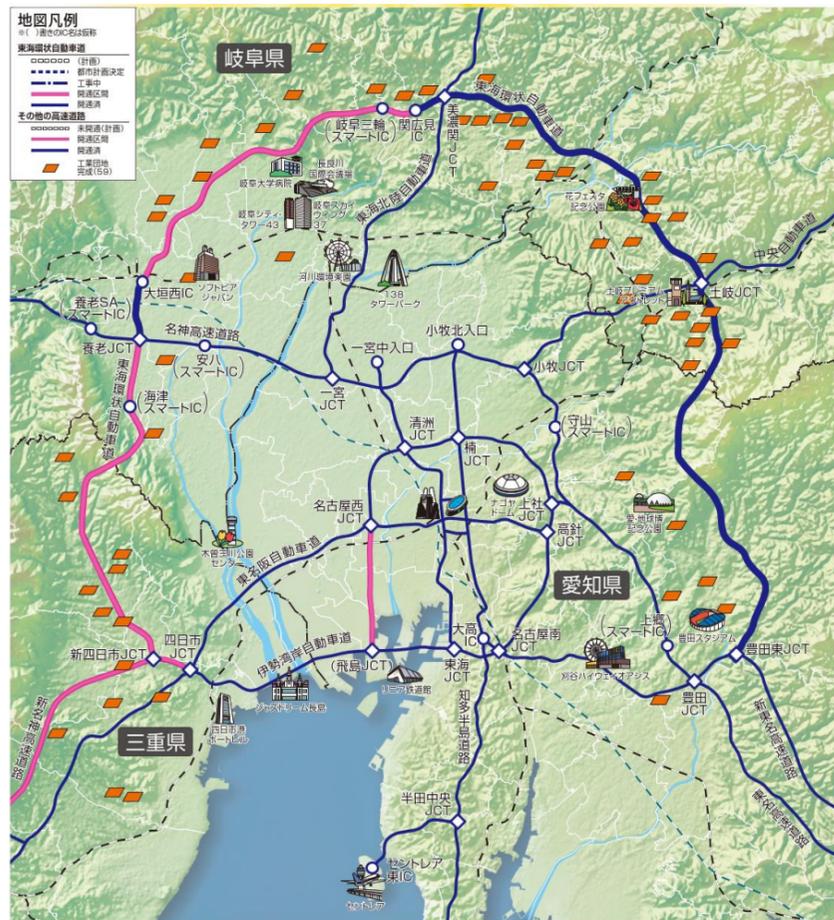
- ① 東海環状自動車道開通で、東海・北陸地方へでのスな物流が実現できます
- ② 危険物やコンテナヤードなど、お客様のニーズに応える機能を、新規構築できます
- ③ 広い敷地面積を活かし、さまざまな倉庫管理の方法が提案できます
- ④ ハザードマップの対象外で防災面での安心です
- ⑤ 輸送～建設工事～倉庫～機械設置のワンストップ受注が可能です
- ⑥ 地域交流スペース・緑地帯があり、地域振興や企業販促に利用できます

事業計画概要（案）



施設名称 (仮称) KUBOXT 中日本FACTORY

所在地	岐阜県揖斐郡大野町大字寺内（テクノパーク大野）
敷地面積	約32,548.18㎡（約10,000坪）
建築面積（I期）	倉庫棟：倉庫約3,000㎡＋クレーン倉庫棟500㎡＋危険物倉庫165㎡×4 事務所棟：地上2階建 約165㎡（現在計画中） 地域交流スペース、緑地帯スペース
施設・装備等	物流倉庫（天井クレーン・コンテナヤードなど）、危険物対応倉庫、フォークリフト完備・野積み、緑地帯、地域交流用地 等
操業開始	令和5年9月（予定）



敷地 3 万 m² 超の大型物流拠点 岐阜に23年 9 月稼働、東海カバー

クボックス

物流業の KUBOXT (西区草津港、久保満社長) は 2023 年 9 月をめどに、岐阜県掛斐郡大野町の工業団地テクノパーク大野に敷地 3 万 2 5 4 8 平方メートルの大型物流拠点を稼働する。11 月 18 日に同町と立地協定を結んでおり、22 年 1 月に取得。フマキラーを荷主とする滋賀営業所の業務を移管し、東海エリアに拠点を持つ企業や現地荷主の開拓も積極化する。

さまざまな高速道路と連結する東海環状自動車道の 24、26 年度的全線開通効果による輸送効率を考慮したほか、ハザードマップ対象外の平野であること、積雪の少なさを理由に進出を決めた。第 1 期工事で種類の異なる複数の倉庫を建て、計 7 0 0 0 平方メートルの施設を計画する。名古屋港向けのコンテナ受け入れに対応するヤードや天井クレーン付き倉庫のほか、需要の高い危険物倉庫も 4 棟用意する。いずれも平屋。スルー型デポ (中継) 機能にも対応。2 階建ての事務所棟、地域交流スペースもある。今後、現地企業を主対象に設計・施工業者を決める。総投資額 12、13 億円。稼働直後の年間売上高は 2 億円前後を見込む。着手時期は未定だが、2 期工事を合わせると延べ床 1 万 2 0 0 0 平方メートル規模を想定している。北陸への輸送などに手を広げ、売り上げ 10 億円への引き上げを狙う。賃借中の滋賀営業所は廃止予定。自前の大規模施設で主要荷主の荷動き拡大に対応するとともに、オペレータースタッフを育成する。

同社は建設業や機械器具設置工事業などの資格も持つ。ユニットハウ

ス建築のほか、出荷前の最終組み立てや現場設置、設置工事など、オールイン。と銘打つ輸送前後の付加価値が強い。新拠点でも加工や組み立て分野の新たなサービスを模索する。21 年 6 月期の売上高は 16 億 3 1 0 0 万円。新拠点稼働時に 20 億円以上を見込む。

キリンググループ (東) 伴南に物流拠点を開設

キリンググループで各社の物流を担うキリンググループロジステイクス (東京) は 11 月 19 日、キリングビル商品の物流拠点「広島西風新都センター」を安佐南区伴南 2-1-5-18 に開き、出荷を始めた。

西風新都セントラルシティ産業用地内に 8 月に開設した東部ネットワーク (神奈川) の倉庫 2、3 階のうち、延べ 7 9 0 0 平方メートルを賃借。構内業務は東部ネットに委託する。これまで広島近郊への出荷は岡山工場が主に担っていた。工場から配送先までの中継拠点とすることで、長距離輸送を減らし、ドライバーの負担軽減や労働環境の改善、ドライバーの確保につなげる。災害発生時の配送困難リスクを低減し、広島近郊エリアへの安定供給の体制を整える。

会頭日誌

▽11月30日午後3時、広島県商工会議所連合会の2021年度中小企業・地域活性化施策に関する意見・要望活動。午後6時半、広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金推進会の第4回総会。▽12月1日午前7時20分、中国経済連合会の地元選出国会議員との懇談会、政府・与党等への要望活動。▽2日午前10時、広島商工会議所 (広島県事業継承・引継ぎ支援センター) と広島弁護士会との事業継承支援に関する覚書調印式。▽3日午後1時半、第50回正副会頭会議。

広島経済レポート掲載記事より

専門的高機能倉庫・物流システムのICT化



さまざまな倉庫管理の方法が可能です。

ニーズに合わせた機能をオンタイムで対応していく計画です。一期工事では、天井クレーン付き倉庫と、この地域でニーズが高い危険物対応倉庫を建設予定。

東京ドーム約1個分の10000坪の敷地面積を、野積みはもちろん、さまざまな管理方法ができるよう、追加投資をしていきます。また、ICTを使った物流システムを導入し、より安全でスムーズな在庫管理を実現します。

(野積みでの管理は、2024年春より対応可能です。)

新規拠点+ALL IN = ∞ (無限大)



KUBOXTのブランド = 「ALL IN」。

運送と運送に付随するしごとをワンストップで対応する当社独自のビジネスモデル。物流を柱とした新たなカテゴリーを創造し、クレーンサービス・建築業・倉庫管理など専門性に磨きをかけ、私たちしかできない仕事を追求しています。

そのパッケージと技術で、お客様の信頼をいただき、13年連続増収、成長して参りました。東海地区においても、あらゆるニーズに耳を傾け、新たな物流ネットワークの構築を進めます。

東海環状自動車道開通でダイレクトな物流ネットワーク

東海環状自動車道は、愛知県、岐阜県、三重県の3県に跨る約153kmの幹線道路です。この道路の開通で、東名・名神高速道路、中央自動車道、東海北陸自動車道、新東名、新名神高速道路の5本の放射状道路が連結されます。この連結により、東海・北陸の中日本や関東にいたるまで、スピーディなネットワークが可能となります。



東海環状自動車道の開通で時間が大幅短縮します



当社が進出するテクノパーク大野は、東海環状自動車道の大野神戸IC・糸巻ICから、車でほぼ10分の立地にあり、この道路の開通により、東海・北陸・関東・近畿地方へのアプローチに最適な場所となり、さまざまな可能性が期待できます。

この立地を活かし、中国地方から東海地方・北陸地方をはじめとした中日本でのダイナミックな物流を、KUBOXTが可能にします。

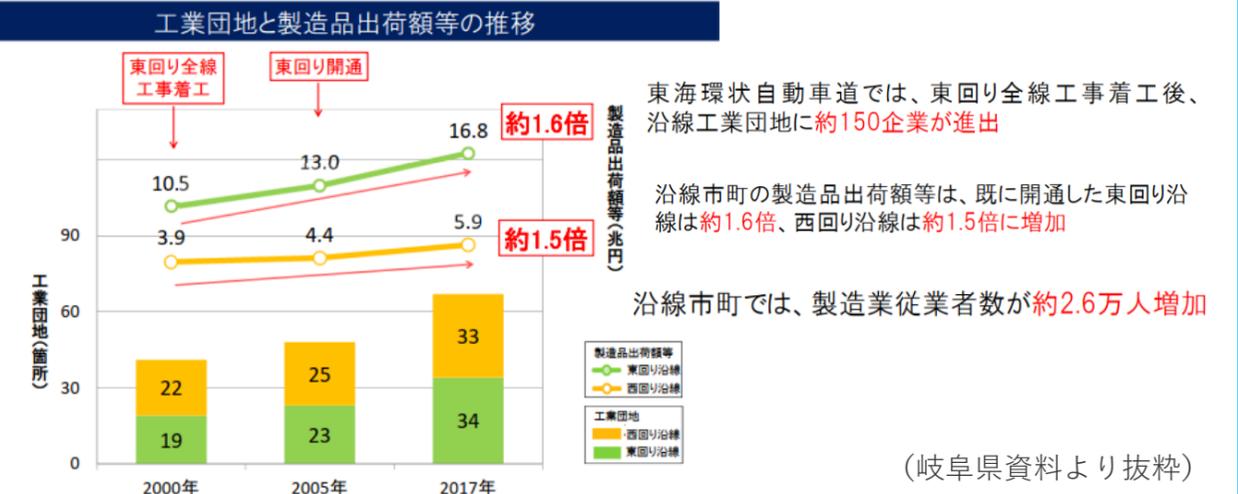
地域と共に～地域貢献

KUBOXTは、利益追求だけでなく、社は「安全・安心を社会に提供し続ける」という「果たすべき使命」を持っています。「三方よし」=お客様・従業員はもちろん、地域（世間）にも喜ばれる経営方針のもと、公共の道路を使わせていただく感謝の心を持ち、地域貢献を行っています。このような取り組みは、社員の誇りとモチベーションを高めることにもつながり、大野町に社屋を構えた際にも、地域と共に歩む企業づくりをすすめてまいります。



- ①地元企業とのサプライチェーンや地域資源の利用を重視し、地域活性化を図ります**
社屋の施工の現地発注をはじめ、サプライチェーンにおける地元企業との関係を重視、地域の資源や生産品などの活用など地域活性化に尽力します。
- ②新たな雇用の創出と、就労支援や人材育成を行います**
地元からの雇用に重視。県内の高校・大学からの新卒採用や、地域からの中途採用など就労支援の実施と人材育成を積極的に実施します。
- ③環境保全や安全管理において、地域を重視した対応で信頼度を高めます**
SDGsへの取り組みや、先進的な排水システム、道路での責任ある安全確保等、安全・安心を提供できる設備や行動設定を構築します。
- ④地域の学校との連携を進め、青少年の育成に努めます**
地域の小・中学校や警察等と連携して「交通安全教室」の開催や、中学校・高校対象の「会社見学」の実施、芸術・スポーツの後援等CSRを実施します。
- ⑤防災・まちづくり・地域コミュニティの構築など、行政との協力を進めます**
災害発生時の施設開放、地域のまちづくり、地域交流スペースや緑地帯を利用した地元住民とのコミュニティづくりなど、地域や行政機関との協力体制をすすめます。

開通により、既に企業の新規進出や人口流入など、経済活性化が進んでいます



(岐阜県資料より抜粋)